

チェック項目	職員数	回収数	回答率	
	20	20	100%	
	はい	いいえ	無回答	
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	20	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%
	工夫している点 課題や改善すべき点等	・1クラスの定員を6名とすることで、個別的な配慮を可能としている。 ・すぐに使いたい道具などの置き場所が少なくスペースの確保・安全・を考える必要あり。		
		② 職員の配置数は適切であるか	16	4
	80.0%		20.0%	0.0%
	工夫している点 課題や改善すべき点等	・国の基準を大幅に上回る職員を配置して個別的な対応を可能としているが、現在1名欠員が生じているクラスがあるため、積極的に募集を行っている。 ・職員体制が足りない中で、クラス間だけでなく、園全体で日々確認しながら調整し最善を尽くしている。 ・募集の仕方を考えていく必要あり。 ・足りていない状況。 ・訪問支援でクラスの先生がクラスを抜ける時にフォローでクラスに入れる職員が必要である。 ・訪問や居宅等の事業・休暇取得のためにも必要な人数の確保・体制の整えは必要。		
		③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事務所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	20	0
	100.0%		0.0%	0.0%
	工夫している点 課題や改善すべき点等	療育室は視覚的情報等を活用して構造化を図っているほか、未歩行児も利用可能なバリアフリーとし、事務室は一斉の情報伝達が可能な放送設備を備えている。		
		④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	20	0
	100.0%		0.0%	0.0%
	工夫している点 課題や改善すべき点等	・新型コロナウイルス感染症への対応も踏まえ、室内や教材の使用後は消毒をするなど衛生面に配慮している。 ・電気が切れていてチカチカしている所がある。 ・電気がすぐ切れてしまう所が何カ所があるが、その都度、すみやかに交換している。		
⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		20	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	
工夫している点 課題や改善すべき点等	年度当初に業務目標設定し、定期的な会議や面接等の場で振り返りを行っている。			
	⑥ 保護者等に向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	20	0	0
100.0%		0.0%	0.0%	
工夫している点 課題や改善すべき点等	毎年、保護者に対して事業所の評価アンケートを実施しているほか、懇親会等で意見を聴取し、業務改善につなげるよう努めている。			
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	20	0	0
100.0%		0.0%	0.0%	
工夫している点 課題や改善すべき点等	毎年、事業所として自己評価を行い、保護者向けの自己評価結果と併せホームページで公開している。			
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	20	0	0
100.0%		0.0%	0.0%	
工夫している点 課題や改善すべき点等	外部講師を招き、療育の質の向上を目的とした研修を毎年行うほか、自主療育学習会も行っている。			
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画(注1)を作成しているか	20	0	0
100.0%		0.0%	0.0%	
工夫している点 課題や改善すべき点等	各期ごとにクラス職員が多角的な視点から子どもの姿を分析したうえで、個別支援計画を作成している。			

適切な支援の提供	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	20	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%
	工夫している点 課題や改善すべき点等	児重票、現在状況など、統一様式のアセスメントツールを使用している。		
		20	0	0
	⑪ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の発達支援「本人支援」及び「移行支援」(注2)、「家族支援」、「地域支援」(注3)で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	20	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%
	工夫している点 課題や改善すべき点等	児童発達支援計画(個別支援計画)に、本人支援のみならず、移行支援である併用先との連携、地域支援である医療機関等の関係機関との連携などを具体的に記載している。		
		20	0	0
	⑫ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	20	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%
	工夫している点 課題や改善すべき点等	年長児と週1回登園の児童については年2回、その他の児童については年3回立案した個別支援計画に沿って支援を行っている。		
		20	0	0
	⑬ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	20	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%
	工夫している点 課題や改善すべき点等	・各クラスごとに、チーム職員(4名)で療育活動プログラムの立案を行っている。 ・チームで確認し合っている。チーム力がないと成し得ないと感じる。		
		20	0	0
	⑭ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	20	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%
	工夫している点 課題や改善すべき点等	各期ごとに療育活動プログラムを見直すことで、内容が固定化しないようにしている。		
		20	0	0
⑮ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	20	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	
工夫している点 課題や改善すべき点等	個別に取り組むべきねらい、小集団のなかで実践するねらいをそれぞれ加味して個別支援計画を作成している。			
	20	0	0	
⑯ 支援計画開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	20	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	
工夫している点 課題や改善すべき点等	毎日、療育終了後の反省会のなかで、翌日の活動内容と児童の担当を設定している。			
	20	0	0	
⑰ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	20	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	
工夫している点 課題や改善すべき点等	・毎日、療育終了後の反省会のなかで、支援の割り振りを行い、留意点等を共有している。 ・多角的にとらえていくために継続した(子どもの姿を)支援していくためにもチームで確認している。			
	20	0	0	
⑱ 日々の支援に関して記録を取る事を徹底し、支援の検証・改善につなげているか	20	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	
工夫している点 課題や改善すべき点等	毎日、療育終了後に活動内容をクラス日誌に、児童の状況を行動記録に記入し、検証を可能としている。			
	20	0	0	
⑲ 定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	20	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	
工夫している点 課題や改善すべき点等	年3回(年長児と週1回登園児は年2回)、個別支援計画の見直しを行うとともに、期の途中で変更の必要が生じた場合は随時見直しを行っている。			
	20	0	0	
⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそのこどもの状況に精通した方もふさわしい者が参画しているか	20	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	
工夫している点 課題や改善すべき点等	サービス担当者会議が招集された場合は子どもの状況に精通した者が参画することとしている。			
	20	0	0	
㉑ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	20	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	
工夫している点 課題や改善すべき点等	保健センター、子育て支援課等の関係機関との連携のもと、親子に対する支援を行っている。			

関係機関や保護者との連携	22	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	20	0	0
			100.0%	0.0%	0.0%
	工夫している点 課題や改善すべき点等	・保健センター、訪問看護ステーション、障害者福祉課等の関係機関との連携のもと、親子に対する支援を行っている。 ・訓練先に訪問の制限がかかっていたため、今年度は断念するしかなかったが親御さんから情報を得た。			
		23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関などと連絡体制を整えているか	20	0
	100.0%			0.0%	0.0%
	工夫している点 課題や改善すべき点等	保護者を通じて、主治医の見解を確認したり、連絡体制の構築に努めている。			
		24	移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容などの情報共有と相互理解を図っているか	20	0
	100.0%			0.0%	0.0%
工夫している点 課題や改善すべき点等	保育園、幼稚園等との併用通園を行っている児童が多数いるため、見学や話し合い等を通じて連携をしている。				
	25	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容などの情報共有と相互理解を図っているか	20	0	0
100.0%			0.0%	0.0%	
工夫している点 課題や改善すべき点等	・就学にあたり、小学校や特別支援学校との間で引継ぎを行い、支援内容等を確認し合っている。 ・コロナ禍で対面がままならない年度もあったが対面の大切さを感じた。				
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	20	0	0
100.0%			0.0%	0.0%	
工夫している点 課題や改善すべき点等	市内の児童発達支援事業所を集めて定期的に開催される連絡会に参加し、情報共有等を行っている。				
	27	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	20	0	0
100.0%			0.0%	0.0%	
工夫している点 課題や改善すべき点等	自立支援協議会の子ども部会、実務者会議のメンバーとして定期的に参加している。				
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	20	0	0
100.0%			0.0%	0.0%	
工夫している点 課題や改善すべき点等	・親子通園施設であるため、毎日の療育のなかで保護者と子どもの状況や発達課題について共通理解を図っている。 ・親子通園という利点を活かして役割として最大限努力している。学んでいく必要がある。				
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して、家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	18	2	0
90.0%			10.0%	0.0%	
工夫している点 課題や改善すべき点等	ペアレントトレーニングなど、公式のプログラムを用いてではないが、日々の親子通園のなかで家族支援を行うとともに、保護者学習会も開催している。				
	30	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	20	0	0
100.0%			0.0%	0.0%	
工夫している点 課題や改善すべき点等	サービス開始に当たっては、通園のしおり等を用いて丁寧な説明をしている。				
	31	児童発達支援のガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容を、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	20	0	0
100.0%			0.0%	0.0%	
工夫している点 課題や改善すべき点等	各期ごとに個別支援計画の評価と立案した計画について保護者と面談を行い、提示、説明を行ったうえで同意を得ている。				
	32	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	20	0	0
100.0%			0.0%	0.0%	
工夫している点 課題や改善すべき点等	・日々の療育の中での保護者との話し合い、個別支援計画の説明の際の面談のほか、「そうだんカード」を設け、提出があった場合は個別面談を行っている。 ・日々親子の様子を注意深くみながら日常の話を聞いている。話しやすい環境作り。				
	33	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	20	0	0
100.0%			0.0%	0.0%	
工夫している点 課題や改善すべき点等	・青い実学園保護者会の活動を支援し、行事の際などは連携を図っている。 ・懇親会は定期的に行っている。保護者会には直接タッチはしていない。				
	保護者へ				

の 説 明 責 任 等	34	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	20	0	0	
			100.0%	0.0%	0.0%	
	工夫している点 課題や改善すべき点等		・「そうだんカード」を設け、個別の相談を希望する保護者から提出があった際は速やかに個別相談を行っているほか、就園、就学の相談は別途希望を募り行っている。			
	35	定期的に会報等を発行し活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対し発信しているか	20	0	0	
100.0%			0.0%	0.0%		
工夫している点 課題や改善すべき点等		月1回、園だより「ありんこ」を発行し、行事予定や療育活動等についての情報を発信している。				
36	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	20	0	0		
		100.0%	0.0%	0.0%		
工夫している点 課題や改善すべき点等		保護者の許可なく個人情報を外部に提供することのないよう、対応を徹底している。				
37	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	20	0	0		
		100.0%	0.0%	0.0%		
工夫している点 課題や改善すべき点等		配慮が必要な場合は個別的な対応を行い、情報伝達と意思疎通を図っている。				
38	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	16	4	0		
		80.0%	20.0%	0.0%		
		工夫している点 課題や改善すべき点等		・従来、隣接する特養さやま苑の入所者を運動会に招待していたが、コロナ禍以降は実現できていない。 ・状況として出来ない。 ・コロナ対策のため、現在は地域住民との関わりは出来ず、コロナ禍において工夫できる点をより模索したい。		
非 常 時 等 の 対 応	39	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	20	0	0	
			100.0%	0.0%	0.0%	
	工夫している点 課題や改善すべき点等		・青い実学園危機管理マニュアルを作成しているほか、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を職員に周知するとともに保護者に発信している。 ・マニュアル見直し作成中。			
	40	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	20	0	0	
			100.0%	0.0%	0.0%	
	工夫している点 課題や改善すべき点等		地震、火災等の災害発生に備え、定期的に避難訓練を実施している。			
	41	事前に服薬や予防接種、てんかん発作などの子どもの状況を確認しているか	20	0	0	
			100.0%	0.0%	0.0%	
工夫している点 課題や改善すべき点等		療育を開始するにあたり、服薬、予防接種、てんかん発作などの状況を確認している。				
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	20	0	0		
		100.0%	0.0%	0.0%		
工夫している点 課題や改善すべき点等		親子通園であるため、保護者の食物アレルギー対応をその都度確認しながら実施している。				
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	20	0	0		
		100.0%	0.0%	0.0%		
工夫している点 課題や改善すべき点等		ヒヤリハット報告書を作成し、その都度記載することで今後に活かせるようにしている。				
44	虐待を防止するために、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	20	0	0		
		100.0%	0.0%	0.0%		
工夫している点 課題や改善すべき点等		虐待防止研修に職員を派遣し、出席した職員は他の職員に報告することでノウハウを共有している。				

(注釈)

- 1 「児童発達支援計画」は、子どもの療育目標(生活面・運動面・社会面・言語面など)や留意点等を各期ごとに立案し、保護者に提示をする計画書のことであり、青い実学園では「個別支援計画」と呼んでいます。
- 2 「移行支援」とは、地域の保育施設や教育機関(幼稚園、学校)等の適切な支援を受けられるよう、連携や調整を行うことです。
- 3 「地域支援」とは、子どもの地域での生活を充実させるため、医療機関、保健センター等の関係機関と連携を行い、支援体制の構築を図ることです。

◎ この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。